

2024年7月8日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者 ・氏名：磯野 敏和  
・年齢：  
・コールサイン：JR1DPH  
・連絡先住所：  
メール：
2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）  
A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア  
B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイデア
3. アイディア名：アマチュア無線入門書寄贈プログラム（仮称）  
— 中学校、高等学校等の図書館にアマチュア無線入門書の寄贈 —
4. アイディアの概要（200字以内）：

学校図書館（室）では、限られたリソースを様々な分野に振り向けなければならないことから、学習に関連した書籍を中心に所蔵しています。そのため、アマチュア無線に関連する書籍を置いていないと思われま

そこで、アマチュア無線入門書を希望のあった中学校、高等学校、高等専門学校の図書館（室）に本を寄贈するプログラムを提案します。

5. 詳細説明（図表を含めて4頁以内）：

中学生、高校生、高等専門学校生を対象とするアマチュア無線資格取得を動機づけるために、希望のあった全国の中学校、高等学校、高等専門学校の図書館（図書室）にアマチュア無線入門書を寄贈します。

既に実施されている「アマチュア無線の交信体験制度（体験運用）」などを経験した中学生、高校生のうち見知らぬ人と話す「アマチュア無線」の魅力を感じた者をはじめとして、また、ふと図書館（室）で出会ったアマチュア無線入門書を通じて資格取得への意欲をかきたてると考えます。

なお、このプログラムは、本の性質上、効果が贈呈年度のみで終わらないことから、翌年度以降も期待されます。

## 中学校、高等学校等の図書館にアマチュア無線入門書の寄贈プログラム（仮称）

### (1) 寄贈書の種類

- ・アマチュア無線入門書

現在、発行されている複数の本の中から、学校からの希望を受け付ける。

### (2) 応募条件

- ① 国内の中学校、高等学校、高等専門学校等の図書館（図書室）
- ② 図書館に確実に配下してもらうために、申請者を上記図書館長（図書室長）又は、学校長とします。

### (3) 実施方法

#### ① 資金調達

- ・募集要項（案）等の細部を決めて、多くのアマチュア無線愛好者や各種団体からの寄付を募り、また、クラウドファンディングにより資金調達します。
- ・スポンサーの獲得：アマチュア無線関連書籍出版社、アマチュア無線機器メーカー、通信企業、電気工学関連企業などからのスポンサーシップを募集します。

#### ② 公募

- ・日本アマチュア無線連盟、日本アマチュア無線振興協会、アマチュア無線機器工業会、CQ出版株式会社をはじめとし、上記団体に加盟する各企業のホームページからリンクするようにして本プログラム募集要項を発表し、申請書類をダウンロードできるようにします。
- ・予算を超える場合には、寄贈する図書館を抽選により選定します。

### (4) アマチュア無線入門書寄贈プログラムの効果

#### ① 技術知識の向上

アマチュア無線は電気工学や無線通信の基礎を学ぶ良い機会となり、学生の技術知識の向上に寄与します。

#### ② 趣味の幅を広げる

学生が新しい趣味としてアマチュア無線に興味を持つきっかけになります。これは科学や技術に対する関心を高める可能性があります。

#### ③ 災害時のコミュニケーション手段

アマチュア無線は災害時に有効なコミュニケーション手段となり得ます。学生がこのスキルを持つことは、地域社会にとっても有益です。

#### ④ クラブ活動の充実

アマチュア無線クラブの設立や活動の促進に役立ち、学校のクラブ活動を充実させることができます。

#### ⑤ 実践的な学習

理論だけでなく、実際に無線を使った実践的な学習が可能です。これにより、

学生の理解が深まります。若者の関心と参加の促進

(5) 本プログラムの次のステップ

本プログラムにより、寄贈した当該学校にアマチュア無線のクラブ（社団）局を設置したいと気運が上がった際、次の課題が考えられます。

① 導入・運用コスト

アマチュア無線の機材は高価であり、学校がその費用を負担する必要があります。寄贈された本だけではなく、実際の運用には追加の投資が必要です。

② 専門知識の必要性

アマチュア無線の運用にはある程度の専門知識が必要であり、指導できる教員やスタッフの確保が課題となります。

③ 運用に関する規制

アマチュア無線は法律や規制に従って運用する必要があり、これに違反しないよう管理するための体制が必要です。

④ 保守と維持

機材の保守や維持には時間とコストがかかるため、学校側にとって負担となる可能性があります。

これらの内容は、大きく分けて費用と人材です。

費用については、上記（3）①資金調達のように広く募ったり、無線機、機材については、アマチュア無線家からいらなくなった無線機等の寄付を求めたりしたらどうでしょうか。ビキナーにはそれをそのまま使えない無線機でしたらその売却益で新たな無線機を購入して提供したらいかがでしょうか？

また、人材については、アマチュア無線の指導ボランティア養成（指導方法、ハラスメント研修）を行い持続可能なプログラムを実現できると考えます。

6. 参考情報（任意）

・ Web 情報：公益社団法人 全国学校図書館協議会

<https://www.j-sla.or.jp/>